

# 鴨川市人口ビジョン及び鴨川市まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定に向けた市民等の意向の把握の状況

(懇談会等)

## 1 地区別区長等市民懇談会

### (1)趣旨

本市の広報広聴事業の一環として、市の諸施策を広く市民に周知し、市民の理解と協力を得るため並びに市政に関する市民意識の把握、疑問に答えることを目的として開催した。

この際、「鴨川市人口ビジョン」及び「鴨川市まち・ひと・しごと創生総合戦略」についても、概要説明等を行い、併せて意見等を求めることとした。

### (2)開催状況

開催地区	日 程	参加者数	うち若年者数	備 考
鴨川地区	平成 27 年 7月6日(月)	79	2	うち市職員 31 名
長狭地区	7月 14 日(火)	89	2	うち市職員 31 名
江見地区	7月 15 日(水)	74	1	うち市職員 31 名
天津小湊地区	7月 17 日(金)	80	4	うち市職員 31 名
計		322	9	

※若年者数は、30 代以下の方の数(受付簿より集計)

### (3)寄せられた主な意見

開催地区	意 見
鴨川地区	<ul style="list-style-type: none"> <li>アンケートで若者の意識調査するのではなく、参加者が市と対等なレベルで話し合える場を作って欲しい。</li> <li>若者の意見を聞いたら、懇談会などは昼間開催してはどうか。</li> <li>旧小湊中学校への児童発達支援センターの早期開設を希望する。</li> <li>自治会の加入率について市はどう考えているのか。また今後の展望はどうか。</li> <li>海洋深層水の活用を図るため、パイプラインを引き、ウニなどの養殖を行ってはどうか。</li> </ul>
長狭地区	<ul style="list-style-type: none"> <li>災害時の避難場所となる旧主基小学校について、校舎の耐震補強を行ってはどうか。</li> <li>旧小湊中学校への児童発達支援センターの開設を希望する。</li> <li>若者が市内に残らない。市外から若者を呼び込むために、市独自の施策を示してはどうか。(例 市外からの起業者へ住宅・事務所を無償貸与)</li> </ul>
江見地区	<ul style="list-style-type: none"> <li>企業誘致状況はどうなっているのか。具体的な施策はあるのか。</li> <li>観光地として駐車場や道路の整備ができていない。松島などは駐車場がない。整備を検討して欲しい。</li> <li>少子高齢化の対策と実績について教えて欲しい。</li> <li>旧小湊中学校への児童発達支援センターの早期開設を希望する。</li> <li>若者の生の声を聞く場を設けて欲しい。懇談会にも若者が来ない。</li> <li>江見公民館を観光・交流ができる施設にして欲しい。</li> <li>旧江見幼稚園を高齢者や市外からの転入者、子どもたちの交流サロンにしては</li> </ul>

	<p>どうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・旧江見幼稚園を図書館にしてはどうか。</li> <li>・旧江見小学校をケア施設にしてはどうか。</li> <li>・人口減少問題については、地元就職できるようにすればいいのではないか。</li> </ul>
天津小湊地区	<ul style="list-style-type: none"> <li>・旧小湊中学校について、地区住民が使用できるよう早期の活用を。</li> <li>・集落消滅の危機感をもっているため、四方木地区の活性化のサポートをお願いしたい。</li> <li>・子育て世代や若い人たちへの支援はどのようなものがあるのか。</li> <li>・「本市の強み」として東京から2時間とあるが、個人的には遠いと思う。鴨川の自然にどう付加価値をつけるかが大事だと思う。</li> </ul>

## 2 第2期鴨川市健康福祉推進計画策定に向けた地区別座談会

### (1)趣旨

第2期鴨川市健康福祉推進計画及び地域福祉活動計画の策定に当たり、市民や健康福祉関係者・団体等との意見交換を行い、計画に反映させることを目的として開催した。

この際、「鴨川市人口ビジョン」及び「鴨川市まち・ひと・しごと創生総合戦略」についても、概要説明等を行い、併せて意見等を求めることとした。

### (2)開催状況

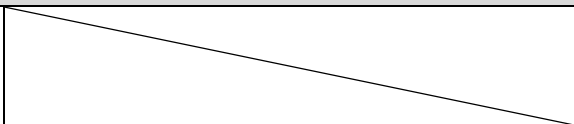
No.	地区名	日程	参加人数	うち若年者数	備考
1	鴨川地区	平成 27 年 8月1日(土)	20	—	
2	主基地区	8月2日(日)	33	1	
3	西条地区	8月3日(月)	17	—	
4	田原地区	8月4日(火)	16	—	
5	東条地区	8月5日(水)	27	—	
6	吉尾地区	8月6日(木)	17	—	
7	江見地区	8月7日(金)	9	—	
8	太海地区	8月8日(土)	13	—	
9	曾呂地区	8月8日(土)	13	—	
10	天津地区	8月10日(月)	14	—	
11	小湊地区	8月11日(火)	9	1	
12	大山地区	8月13日(木)	17	1	
計			205	3	延べ人数

※若年者数は、30代以下の方の数

### (3) 寄せられた主な意見

課題としては、人口減少問題、空き家対策、子育て支援や若者への支援、施設のあり方など、多岐に亘って意見が多数挙げられた。解決策のアイデアでは、今ある資源を生かした人が集まる魅力づくり・産業・雇用の創出や、空き家の定住促進への活用など、市全体として取り組むべき大きな視点での意見が多岐に渡って挙げられた。

現状や課題、良い取り組み事例など	問題解決・事例活用のアイデア
1. 人口減少について	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・消防法の関係で家が建てられず、人口が都会へ流出してしまう（鴨川）</li> <li>・人口減少が不安（天津）</li> <li>・すでに人口が減ってきている（主基）</li> <li>・人口減少に対する具体的な対策が必要（主基）</li> <li>・消滅都市が増えている社会潮流の中、鴨川市は特別な状況にある（主基）</li> <li>・集落が過疎化してきている（西条）</li> <li>・若い人が少なく、少子高齢化が進んでいる（吉尾）</li> <li>・高齢化の問題がある（江見）</li> <li>・人口増への取り組みが必要（曾呂）</li> <li>・人口減・世帯数増の原因は、核家族化が進んできたためではないか（天津）</li> <li>・勝浦市の人口が2万人をきっている。減っている原因がわからない（大山）</li> <li>・人口を増やすことが大事。若い人を呼び込む必要がある（大山）</li> <li>・高齢化率が高く高齢者が福祉を支え恩恵を受けている。働いている人は、生活で精一杯である（大山）</li> <li>・高齢化により、税収減が将来的に懸念される（西条）</li> <li>・目標出生率（2.1）は現実的な設定ではないのでは（主基）</li> <li>・母子家庭の転入が多い（東条）</li> <li>・出生率が低い（吉尾）</li> <li>・子どもが少ない、周囲に同年代の子どもが居ない（曾呂）</li> <li>・若い人が出ていっており、高齢者が増えている（大山）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・若い世代が長く住める地域、観光に頼らない就労の場が必要。アクセスが良いが素通りしてしまい宿泊者も減っている（天津）</li> <li>・若者向けの住居・就労場所の確保が必要（天津）</li> <li>・人口を保つために、逆算して計算していく（主基）</li> <li>・全国区の数値を参考にするよりも鴨川市のデータ分析が必要（小湊）</li> <li>・今ある資源の活用をしていく（天津）</li> <li>・観光の活性化させ人口増につなげる（主基）</li> <li>・日本版 CCRC の導入（主基）</li> <li>・日本版 CCRC の取り組みが必要。都会から移住してくる人が期待されている（田原）</li> <li>・他市から移住してもらい地域を活性化していく。棚田で PR し、空き家を利用して宿泊できるようにして農業も活性化させたい（棚田 10 周年を盛り上げていく）（曾呂）</li> <li>・リタイヤしたサラリーマンが快適に暮らせる場所を作り、元気な高齢者を呼ぶことで、地域の消費が増え、仕事ができ、若い人も入ってくることを期待している。プラチナタウンに関しては具体的な話をこれからディベロPPER含め進めていく（田原）</li> <li>・首都圏へ安定して通勤できるように交通を整える（田原）</li> <li>・鴨川は医療・観光の街である地の利を活かす（田原）</li> <li>・高速バスを使って他県から人を呼ぶ（大山）</li> </ul>
2. 空き家対策について	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・空き家が多くなっている。相続人がいればよいが、草刈りなどの管理は誰がやるのか。使用していない会社の寮が老朽化しており、危険がある（江見）</li> <li>・空き家対策について、危険な場所があり、対策が難しい面もある（江見）</li> <li>・空き家の火事を心配している、また、不法侵入者がいる（太海）</li> <li>・空き家が増えている（曾呂）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・空き家の活用を考える（曾呂）</li> <li>・空き家について市へ相談をしていく（江見）</li> <li>・鴨川市の魅力を見出し、居住者へアピールを積極的に行ってほしい。さらに、空き家の利用に関してしっかりルールを設ける（曾呂）</li> <li>・古い建物・民宿・日本の家屋を求める外国人観光客が増えている。鴨川も古き良き日本の家屋を建てて、観光客を呼びこむことはできないか（田原）</li> </ul>

<ul style="list-style-type: none"> <li>・空き家がたくさんある（小湊）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コンテナの活用や、市の補助の拡大を行う（田原）</li> </ul>
<p>3. 子ども・若者支援について</p>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・安定した雇用の創出が難しい（鴨川）</li> <li>・介護従事者の給与が安いのでは（鴨川）</li> <li>・女性の就業割合が高いので、出産・子育てへの支援が必要（鴨川）</li> <li>・若い人が働ける場所がない（曾呂）</li> <li>・就労が、医療・福祉・観光分野のみに限られる現実がある（天津）</li> <li>・若い人は雇用とお金がないと定住しないので、資源を活用した稼げる農業を（小湊）</li> <li>・仕事ができる環境づくりなど、同時にやっていかないと地域づくりはできない（大山）</li> <li>・仕事がなく、子どもたちを呼べない、しかし企業を呼ぶのも難しいのではないかと（田原）</li> <li>・子ども・若者を呼ぶにも仕事が必要（吉尾）</li> <li>・独身者同士を結びつけるような、出会いの機会が少ない（吉尾）</li> <li>・結婚・育児の意識が低く、若い世代の価値観の違いがある（天津）</li> <li>・夢などがあると、若い人たちにとって地元の大学だと選択肢が少ない（天津）</li> <li>・世代間の価値観の相違（天津）</li> <li>・若い世代の意識が、結婚・育児への関心が低い（天津）</li> <li>・肉食系より草食系の人間が増えているのでは（大山）</li> <li>・大山への移住者を増やしたい（大山）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・休耕地を活用し、若い方の就労の場にしたらどうか。収入を確保できるシステムが必要（天津）</li> <li>・働きやすい環境づくり（鴨川）</li> <li>・新しい雇用を作る（大山）</li> <li>・障害者に対する働く場所の確保（鴨川）</li> <li>・産業を作るべき。近辺の資源を活用する。海藻や寺など（小湊）</li> <li>・雇用をいかに作り出すか（主基）</li> <li>・子ども同士交流できる機会が欲しい（曾呂）</li> <li>・恵まれた自然環境を活用する（大山）</li> <li>・子どもを多く産んでくれた人への経済的支援をする（吉尾）</li> <li>・婚活事業を増やす（曾呂）</li> <li>・鹿駆除なども早く行うべき。庭にヒルなどがいると、若い世代は出てしまう（大山）</li> <li>・使っていない土地を若者の定住化へ活用する（天津）</li> <li>・婚活事業は高齢者が対象でも良いのでは（曾呂）</li> </ul>
<p>4. 施設のあり方について</p>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設ごとの時間の延長をしてほしい（主基）</li> <li>・運動器症候群の予防のためのロコモ施設が欲しい（田原）</li> <li>・幼稚園・体育館・旧江見小学校の活用方法の検討が必要（江見）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動器症候群の予防のためのロコモ施設を身近に設置して欲しい（田原）</li> <li>・幼稚園・体育館・旧江見小学校を、健康体操などの場所に活用できると良い（江見）</li> <li>・空き校舎の活用法の検討・提案していく（小湊）</li> <li>・学校を地域活動に活用していく（曾呂）</li> <li>・田の真ん中にグループホーム作るなどの取り組みを検討してはどうか（天津）</li> </ul>
<p>5. 行政からの支援について</p>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域で原則頑張るが、行政からの協力が無いのは困る（吉尾）</li> <li>・助成金が減った（天津）</li> </ul>	
<p>6. その他</p>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・座談会の参加者が増えれば、アイデアも増える（田原）</li> <li>・座談会の参加者が少ない（小湊）</li> <li>・合併にはメリットもデメリットもあった（曾呂）</li> </ul>	